

# 【宮城蔵王ガイド協会】 ガ イ ド 日 誌

ガイド氏名	太田 富造
実施期日	平成22年6月13日(日) 午前 7時～午後16:20時
天 候	晴れ
依頼者氏名	蔵王植物観察会蔵王フラワートレッキング 2010
案内人数	5名(高橋恵里・野沢克己・恵美・山口克彦・吉岡邦夫)
案内コース	南蔵王縦走コース(刈田峠～白石スキー場)
1. ガイド実施にあたっての問題点、反省等を記入	
<p>登山始まりの約30分、体が温まっていない状況でつついハイペースになり案内者がついてこれないことがあった。案内者の調子を確認しながら、こまめに休憩と水分補給をし、予定通りの時間に無事全員縦走できた。説明、写真撮影、休息(水分補給)の時間配分、時間指定を告げての案内で班長さんにタイムキーパーを今後願う。</p>	
2. 自然(高山植物等の状況)、登山道の状況等について気づいたこと	
<p>刈田峠～刈田峠避難小屋：ムラサキヤシオ・ムシカリ・ミツバオウレン・コミヤマカタバミ・サンカヨウ・ツバメオモト・アラゲヒョウタンボク・イワナシ・ミヤマスマレ芝草平：ヒナザクラ・チングルマ少々・イワカガミ杉ヶ峰：ミヤマハンショウズル・タカネサクラ屏風岳～南屏風：アズマシャクナゲ・ツマトリソウ不忘山：ハクサンイチゲ・ユキワリコザクラ・ミヤマキンバイ(イワキンバイ)・ミネズオ・シラネアオイ・チシマギキョウ弘法清水：アズマギク・カバレンゲツツジ不忘は花の楽園</p>	
<p>登山道：刈田峠の沢と前山手前に残雪があったが危険ではない。刈田峠、芝草平付近は雪解け水が登山道を流れているヶ所があるが支障ではない。他は乾いた状態の登山道で歩きやすかった。特に心配していた不忘山までの砂礫場、ガレ場、平和の碑からの下りは滑って転倒することもなく、少々ばて気味であったが快適な登山道であった。</p>	
3. 略図、その他所感等	
<p>ハンディーGPSの記録(トラックタイム)  刈田登山口8:45～刈田峠避難小屋9:05～前山10:05～杉ヶ峰10:35  ～芝草平10:56～屏風岳11:45～南屏風岳12:52～不忘山14:08～  弘法清水15:04～白女山小屋跡地15:52～白石スキー場 16:13(休憩を含む)  歩行距離12.5km  添付資料：軌跡図(fax)  ：縦走標高表示表(fax)  ：縦走ペース表示表(fax)  ：蔵王フラワートレッキング 参加者配布資料</p>	

※ 宮城蔵王ガイド協会事務局へ提出願います。(宮城蔵王観光㈱ FAX 0224-34-3112)

# 【宮城蔵王ガイド協会】 ガ イ ド 日 誌

ガイド氏名	太田 富造
実施期日	平成22年7月4日(日) 午前7時～午後4時
天 候	午前：曇り 正午：晴れ 午後3時雨
依頼者氏名	蔵王フラワートレッキング2010
案内人数	11名 (大場栄子・岡香織・佐伯延治・庄司みさ子・高橋信二・高橋恵里・根本さつひ・岡崎犀文・山口克彦・吉田健一・吉田弘司)
案内コース	旧料金所からバスで刈田山頂駐車場：刈田岳：馬の背：熊野岳：自然園：追分：名号峰：猫鼻：我が温泉：旧料金所
1. ガイド実施にあたっての問題点、反省等を記入	
<p>途中帰還者：8：20刈田岳で足元がふらついている参加者がいた。本人は大丈夫といっているが、とても登山できる状態ではなく連人の男性とレストハウス付近で迎いの連絡がつくので返した。筋肉痛に因るこむら返り12：40女性の一名がこむら返りを発症いたため止め、塗り薬、マッサージを吉田さんが施し一時は歩けたが再度症状。吉田さんが20分程背負って下る、前を岡さん間に腰にザイルを付けて後から吉田さんがひいてどうにか歩ける状態となった。結局最後まで歩き、先行していた小川ガイドと井口さんに我が間でむかえに来ていただいて1時間遅れの午後4時に旧料金所無事に到着。途中帰還者とこむら返りに対応する判断をどうするのか検討課題とする。</p>	
2. 自然 (高山植物等の状況)、登山道の状況等について気づいたこと	
<p>お釜が展望できた。熊野岳途中のオノエラン・アオノツガザクラ・コケモモ自然園手前のコマクサはピーク1200～1500m全般にハクサンチドリ・ツマトリソウ・ネバリノギラン・コバイケイソウ・ウラジロヨウラク・イワオトギリ・マルバシモツケ・イチヤクソウ・ベニバナイチヤクソウ・シラネミンジン・ズダヤクシュ・オオバヨツムグラ・サンヨウカ (実) マイズルソウ・ハクサンシャクナゲ・ミネヤナギ・シロバナニガナ・ニガナ・ミヤマオダマキ名号峰から我が間では、ダケカンバ・ミズナラ・ブナ・イタヤカエデの落葉広葉樹林帯。登山道の状況名号峰までは足場がよい、我が温泉までは枝、下草刈りをここ2年ほどしていない状況で枝に頭をぶつけ、登山道に被さるナンブアザミのとげで足を刺され苦慮して下山した。7月24日ガイド協会のツアーに合わせ、川崎町山岳会に下草狩りと枝落としの要請を願う。この時期でこの状態7月24日は歩けなくなる様な気がする。</p>	
3. 略図、その他所感等	
<p>AM7：00旧料金所集合、受付開会式後刈田山頂までバス移動8：00到着・班編制準備運動8：16刈田岳三角点9：33熊野岳10：55自然園11：00追分12：15名号峰14：25猫鼻14：40引き返し合流14：52猫鼻15：45我が温泉16：00旧料金所</p> <p>参照：トラックルート図：トラック縦断図</p> <p>ガイド：3名 (太田・小川・笹森) 参加者：30名 計33名</p>	

宮城蔵王ガイド協会事務局へ提出願います。(宮城蔵王観光株 FAX 0224-34-3112)

# 【宮城蔵王ガイド協会】 ガ イ ド 日 誌

ガイド氏名	太田 富造
実施期日	平成22年8月8日(日) 午前7:00時～午後13:34時
天候	7:00～11:00 晴れ 昼前に小雨、昼からは曇り
依頼者氏名	蔵王植物観察会 蔵王フラワートレッキング 2010
案内人数	9名(青柳信義・井口巖・佐藤義則・和田進・菅原恵子) (荻原洋一・荻原淳子・佐藤攻如・佐藤裕美子)
案内コース	刈田山頂レストハウス駐車場～ドッコ沼までバス移動 ドッコ沼～細沼～ウツボ沼～目玉沼～片貝沼～地蔵尊～わさ小屋跡 ～避難小屋～馬の背～お釜～刈田山頂レストハウス駐車場
1. ガイド実施にあたっての問題点、反省等を記入	
<p>開会式後早々にバスに乗り込む、挨拶含めフラワートレッキングの目的と今回のコースの概要を説明しながら、安全登山と今年の山の遭難、山の抱えている問題、魅力の高山植物の名前を覚えるこつ、必用装備について開設後、各参加者から蔵王について思っていることと題して発声を頂く、意見は登山歴の違いからか様々であったが、みな蔵王の自然に引かれての参加であるようである。観光協会員のすすめでノルデックウオークのストレッチ体操から始める。頭から足までのストレッチはこれからも使える準備体操である。このトレッキングの目的の一つ会員の研修のために2班に分けて研修ガイドと班長の分担を決めて登山を行った。登山のキャリアのある班長、ガイドはそれなりに役割をこなしているようであった。花の開花の過渡期あたりそれほど多くの花をみれなかったが、本線から五郎岳にゆく登山道は思いの外花の種類があった。今回のルートは選択の余地があり各班のガイドと班長に任せて最終到着点をせざしてもらった。天候もそこそこ、ガスっていたが隙間からお釜が展望できて各人の目当ては達成させられたかと思う。集合場所の明確化について、地元の間人ならおおよそエコーライン沿いの地名ならわかるようだが、他の方々迷っていることが多いようである。対策として蔵王町観光協会のホームページに、詳しい概要と集合場所の案内図を掲載した。今回もホームページを検索して参加した方が2名いたので、これから更に活用したい。</p>	
2. 自然(高山植物等の状況)、登山道の状況等について気づいたこと	
<p>山形方の碎石を引き詰めた登山道路は歩きにくいと感じた他は、直接事故に繋がる様な危険な箇所は無かったようです。高山植物はイワオトギリ、ヨツバヒヨドリ、ミヤマウツビグサ、ズダヤクシュ、アオヤギソウ、シロバナトウウチソウ、オニシモツケ、エゾシオガマ、ソバナ、ミヤマアキノキリンソウ、ウメバチソウ、コバノイチャクソウ、コバノトンボソウ、ゴマナ、エゾアジサイ、コマクサ、ミヤマコウゾリナ、</p>	
3. 略図、その他所感等	
<p>所要時間(休憩を含む) 刈田山頂駐車場集合開会式・7:00～7:10バス乗り込み・移動～8:16ドッコ沼～9:10五郎岳～9:28うつぼ沼～9:43目玉沼～9:47片貝沼～9:55パラダイスゲレンデ～10:30さんげ坂～11:13地蔵尊～12:13わさ小屋跡～12:46避難小屋～13:07馬の背 ～13:34刈田山頂駐車場</p>	

ガイド：2名（太田・高橋俊也）参加者：19名 計21名

参照：GPSトラックルート図

：GPS7トラック縦断図

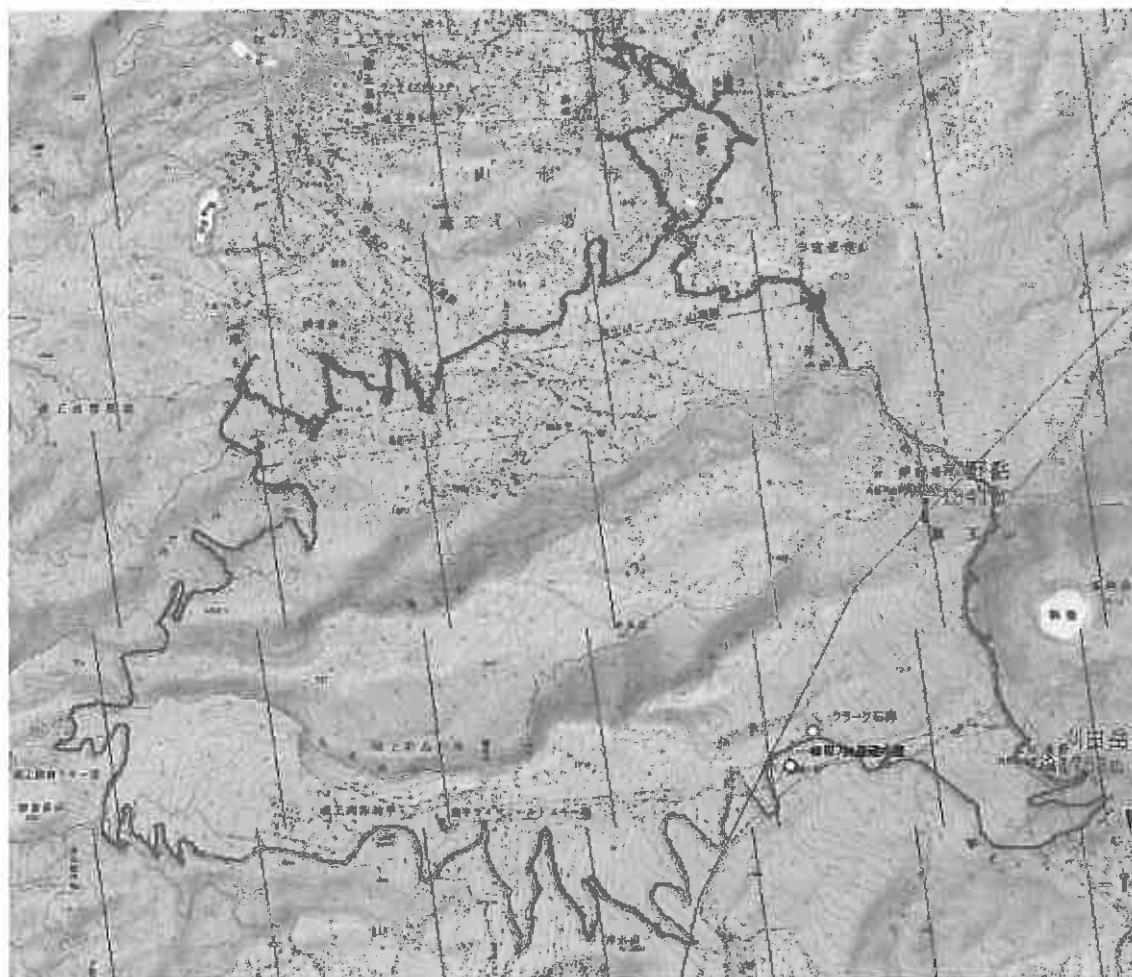
：GPSペース配分表

歩行距離：9.48km

所要時間：5:17

※宮城蔵王ガイド協会事務局へ提出願います。（宮城蔵王観光㈱ FAX 0224-34-3112）

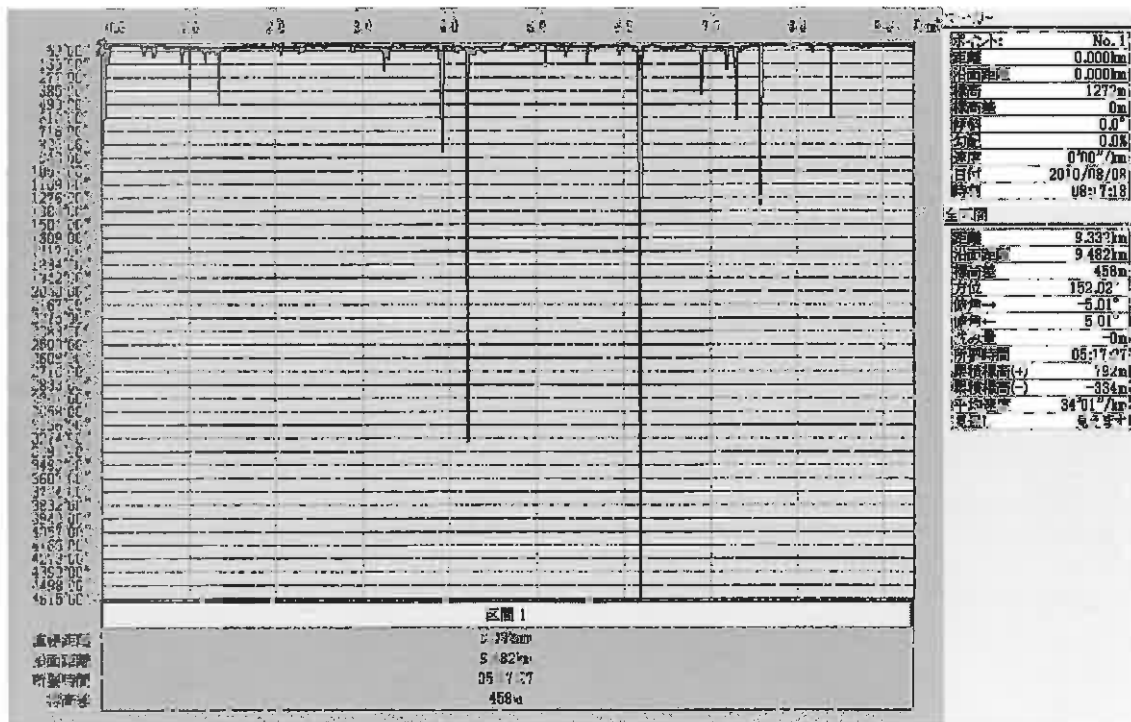
：トラックルート図



： GPS トラック縦断面図



： GPS ペース配分表



# 【宮城蔵王ガイド協会】 ガ イ ド 日 誌

ガイド氏名	太田 富造
実施期日	平成22年9月12日(日) 午前7:00時~午後12:45時
天候	終日雨
依頼者氏名	蔵王植物観察会 蔵王フラワートレッキング 2010
案内人数	渥美照男・大宮としこ・石川登喜子・菊池健男・真壁隆・和田進
案内コース	<p>予定コースは刈田峠(新道)股窪・白龍の滝・烏帽子の縦走であったが昨夜からの雨と依然として東北南部に張り出している秋雨前線が強く、降水確率も80パーセン以上で予定の縦走コースは川を渡らなければならないヶ所があるので、危険回避の為にバス送迎を中止し、集まった参加者だけで下記のルート雨天登山訓練と位置づけ、歩行を開始した。</p> <p>えぼしゲート前~蔵王無料休憩所~三階滝~白龍の滝~ゴンドラハウス~カモシカ~千年杉~えぼしゲート前</p>
1. ガイド実施にあたっての問題点、反省等を記入	
<p>雨天の場合の連絡体制：前夜にバス会社、高橋ガイドとは雨天時の場合の対応を協議し決定していたので、開催日には雨が降っていても支障がなかった。協議の内容は午前6:00の時点で雨が強く登山できない場合はバスの送迎を中止する。高橋ガイドとは雨が降り縦走が無理の場合は、烏帽子スキー場近辺の安全を確保出来るコースでトレッキングを行う。ただし参加者にはこのことが知らされておらず、このような場合の対応として今後は、雨天の場合でも集合場所、時間に集まりそこでの判断とする。安全対策として危険と考えられる場合縦走は取りやめ近くの安全なコースで開催する。このことを参加者にお知らせしたいと思います。今回は事前登録者数が23名実際に集まったのが6名でした。雨天登山の訓練には最適な人数であったと思います。</p> <p>また、無理にトレッキングせずに登山の座学の講習会を開催するのも方法の一つであるとも思った。</p> <p>烏帽子にゲートが出来て、午前8:00前に入場できないことが把握していなかった。但し、蔵王町無料休憩所、トイレ・カモシカハウスがオープンで使用できることから雨天の場合の避難場所と座学開催の場所として使用できることがわかったのでこれから有効活用出来ると思った。</p> <p>雨天時の装備について、トレッキングをはじめて間もない参加者がいて、ザックカバーが無かったり、雨天でも短いシューズを履いている人がいた。登山の装備について、これから気温が低くなるシーズンなので周知させたいと考えた。</p> <p>今回、雨天でいたがいろいろないみでシュミレーションでき、今後の対策に解決策を見いだせたことは成果がありました。また、終始雨でしたが、カモシカハウスで早めの昼食をとり、時間があつたので高橋ガイドによりロープワークと救急を開催できたのは、雨のお陰と思っています。参加者も雨を気にせずに楽しくトレッキングでき喜んでいました。参加者6名にガイド2名の贅沢な雨天トレッキングを堪能できました。</p>	
2. 自然(高山植物等の状況)、登山道の状況等について気づいたこと	

このコースは、春のショウジョバカマ、イワカガミの類はあるようであるが、9月は花よりも樹木の実ときのこが多いようです。それでもアキノキリンソウ、オオカニコウモリ樹木の実では、ヤマボウシ、ウスノキ、ミズナラ等。

登山道は雨天で危ぶまれたが、危険なヶ所はなく転倒、滑落するような所は無かった。比較的、コース管理が行き届いていて、草露で濡れたりと不快なことは無かった。

ガイド：2名（太田・高橋俊哉）参加者：6名 計8名

：トラックルート図

：GPS トラック縦走図

：GPS トラック縦断図

：GPS ペース配分表

歩行距離：7.91 km 平均速度：1.45 km/h

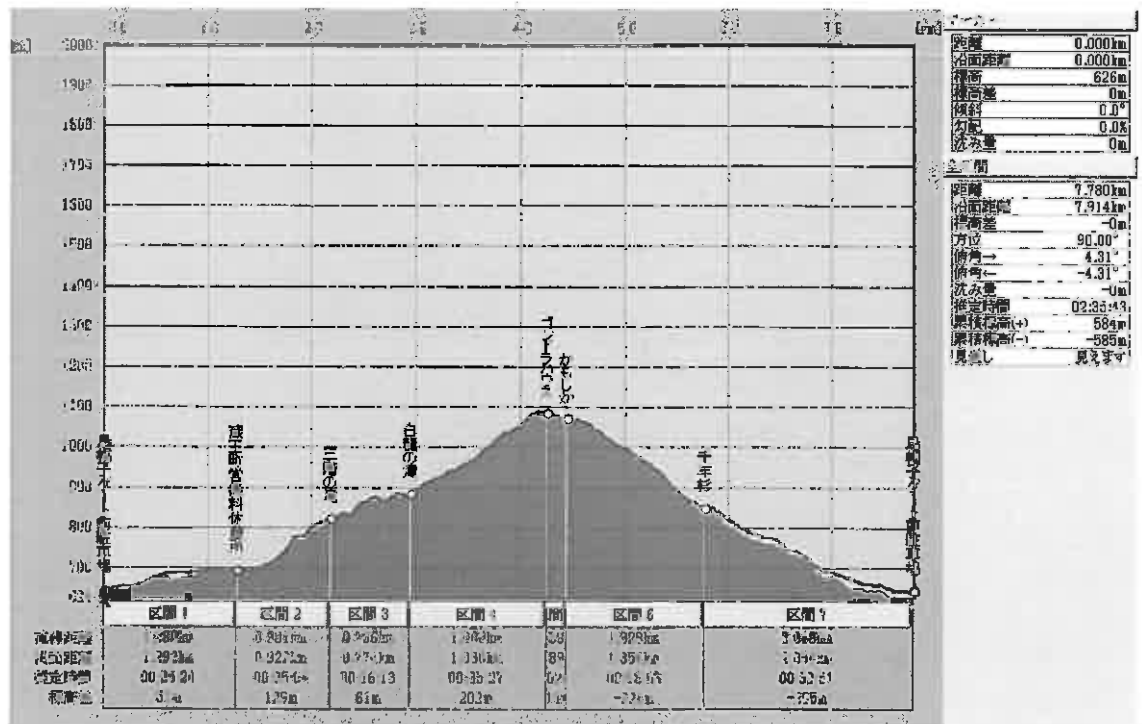
所要時間：5：45

※宮城蔵王ガイド協会事務局へ提出願います。(宮城蔵王観光㈱ FAX 0224-34-3112)

### GPS トラック縦走図



# GPS トラック縦断図



# GPS ペース配分表

